

社外取締役のことはじめ

社外取締役の皆様のご活躍が、企業の持続的成長と中長期的な企業価値向上の鍵となります。重要な役割を担う社外取締役としてご活躍されるにあたり、まずはじめに知っておいていただきたい内容について掲載しておりますので、是非ご参照ください。

1 取締役会の役割・責務を知る

企業戦略等の
大きな方向性を示すこと

経営陣幹部による適切な
リスクテイクを支える
環境整備を行うこと

独立した客観的な立場から、
経営陣・取締役に対する
実効性の高い監督を行うこと

「コーポレートガバナンス・コード」【基本原則4. 取締役会等の責務】

2 社外取締役としての自身に期待されている役割・機能を知る

一般的に期待されている役割

- ① 経営方針や経営改善についての助言
- ② 経営の監督
- ③ 利益相反の監督
- ④ ステークホルダーの意見の反映

「コーポレートガバナンス・コード」
【原則4-7. 独立社外取締役の役割・責務】

具体的な行動の在り方

就任時 会社側と協議の上、
自らのミッションを明確に認識

就任後 取締役会に対する能動的な働きかけ

- ① 適切なアジェンダセッティング
- ② 活性化のための運営上の工夫 等

「社外取締役ガイドライン」 P.25～45

3 社外取締役としての5つの心得を知る

心得
1

最も重要な役割は、経営の監督
中核は、経営陣の評価と指名・報酬

- ◆ 必要な場合には、社長・CEOの交代を主導することも含まれる
- ◆ 過度に細かい業務執行に立ち入らない
- ◆ 経営陣の適切なリスクテイクをサポートする

心得
2

社内のしがらみにとらわれず、
会社の持続的成長に向けた経営戦略を考える

- ◆ 社内の常識にとらわれない視点
- ◆ 中長期的な視点
- ◆ ESGやSDGsを含めた持続可能性を意識した経営の重要性
- ◆ 各事業部門の利害にとらわれない全社レベルでの「全体最適」の視点

心得
3

業務執行から独立した
立場から、
経営陣に対して遠慮
せずに発言・行動

心得
4

経営陣と、
適度な緊張感・距離感を
保ちつつ、
信頼関係を築く

心得
5

会社と経営陣・
支配株主等との
利益相反を監督

4 自身の役割を果たすために必要な知識・スキルを知る

不足を感じた場合は、研修・トレーニングも活用しながら、継続的に向上に努める。

全社外取締役に必要な知識・スキル

財務・会計・法務を含め、企業経営に関する基礎的な知識・知見等のミニマム・スタンダードとして必要な最低限のリテラシー



特有の知識・スキル

それぞれの役割・機能に応じて求められる資質・背景に依拠する知識・知見

「CGSガイドライン」 P.61～63 / 「社外取締役向け研修・トレーニング活用の8つのポイント」 P.18

5 就任先企業のことを知る

その役割・責務を実効的に果たすために、能動的に情報を入手する。

就任前／就任時

- ◆ 就任先企業からの説明（経営戦略、事業、組織・ガバナンス体制、具体的な事業環境・製品等、内部の諸規程・運営等）

就任期間中

- ◆ 就任先企業からの説明（事業環境・製品、旬なテーマ等）
- ◆ 執行役員クラスまで含めた経営陣や事業部門とのディスカッション
- ◆ 現地視察における意見交換、監査役等や内部監査部門との情報交換等

「社外取締役ガイドライン」 P.44～45 / 「社外取締役向け研修・トレーニングの活用の8つのポイント」 P.19～20

参照ガイドライン等へのリンク



コーポレートガバナンス・コード



株式会社東京証券取引所



※ プライム市場・スタンダード市場の上場会社は、コードの全原則について、グロース市場の上場会社は、コードの基本原則について、実施するか、実施しないものがある場合にはその理由を説明すること（コンプライ・オア・エクスプレイン）が求められます。

NEW!

「稼ぐ力」の強化に向けて、取締役会が踏まえるべき内容を知りたい場合



「稼ぐ力」を強化する取締役会5原則



経済産業省

社外取締役の在り方（位置付け、心得、行動の在り方等）について知りたい場合



社外取締役の在り方に関する実務指針（社外取締役ガイドライン）



経済産業省

コーポレート・ガバナンス全般に関する取組方法について知りたい場合



コーポレート・ガバナンス・システムに関する実務指針（CGSガイドライン）



経済産業省

研修・トレーニングを活用したい場合



社外取締役向け研修・トレーニングの活用の8つのポイント



経済産業省

2025年6月改訂

コーポレートガバナンスに関する各種ガイドラインについて

経済産業省では、コーポレートガバナンス・コードを実践するための各種ガイドライン等を公表しております。理解を深める際や個別論点を検討する際等にご活用ください。

🔍 コーポレートガバナンス ガイドライン

